



特集

JMRA アニュアル・カンファレンスを11月28日に開催
各セッション、情報交流会ともに活況を呈しました！

TOPICS

- 今年の出来事や今後の方向性を大きな視点から捉える 2024年を振り返って
- 国際的に「待ったなし」の Fraud 回答対策 P&G社が2025年7月までの品質改善を「強く」要請

Vol.86

2024/12/17 配信

シーズンオフに入った野球選手たちは自主トレを始める中、近年、シアトルのドライブライン・ベースボール (Driveline Baseball) に自費で通う選手が増えています。

この施設は、科学的アプローチとデータ解析を活用し、選手のパフォーマンス向上を支援する先進的なトレーニング施設です。MLB ではピッチングやバッティング動作を精密に分析し、選手の特性を最大限に引き出すトレーニングが主流となっているため、ドライブライン・ベースボールでは、モーションキャプチャや高精度センサーを使用して投球回転数や打球速度などのデータを収集し、これを基にした最適なフォーム改善やトレーニングプランを提供しています。

こうしたデータ駆動型アプローチは選手自身の潜在能力を引き出すだけでなく、怪我予防やパフォーマンスの長期的維持にも寄与しています。そして、球団による選手育成やスカウティングにも応用されています。この流れは野球全体の競技力向上に貢献し、精神論中心の指導法は変化を迫られています。

我々もデータに基づいた指導を取り入れ、時代の流れに対応する意識が求められています。

<JMRA ウェブ・メルマガ委員会>

[メルマガ登録について詳しくはこちら](#)

特集

JMRA

Annual Conference 2024

開催レポート：第1回

Beyond “Marketing Research” 2024.11.28 THU

- 新産業の協働と創造へ -

at Bellesalle Shibuya First 2F

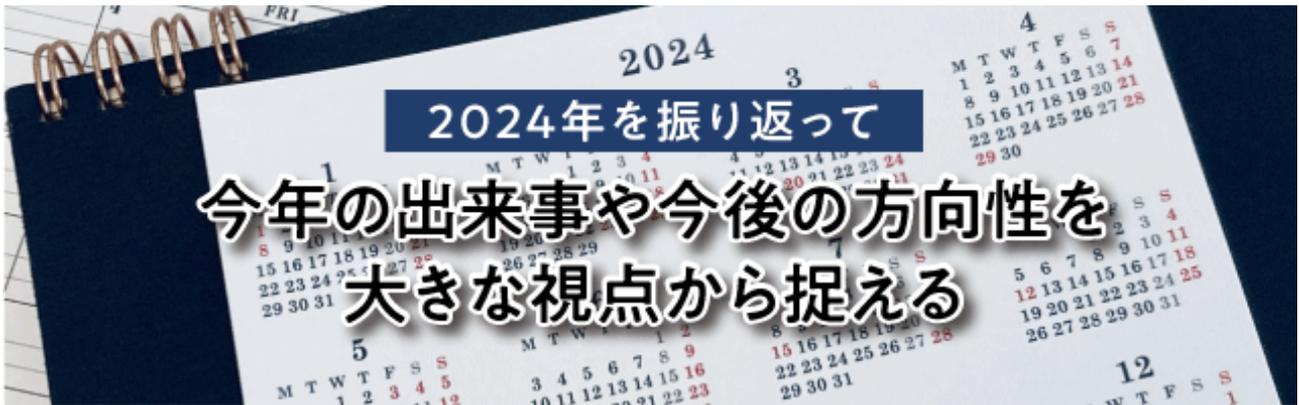
JMRA アニュアル・カンファレンスを11月28日(木)に開催
各セッション、情報交流会ともに活況を呈しました！

11月28日(木)に、JMRA アニュアル・カンファレンス 2024 が5年ぶりにリアル開催され、500名以上が参加しました。

「Beyond “Marketing Research”～新産業の協働と創造へ～」をテーマに掲げ、日産自動車 執行役副社長 星野朝子氏による基調講演、JMRA 三役による「業界未来像」座談会をはじめ、スポンサー企業12社によるミニセッション「AI とマーケティングの未来」などが開催されました。今回は、情報交流会も含めて入場無料とし、コロナ禍で途絶えていた交流の機会として、多くの皆さんに参加をいただきました。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



今年の出来事や今後の方向性を大きな視点から捉える 2024 年を振り返って

早いもので 2024 年も間もなく終わろうとしています。今年は皆様にとってどんな 1 年でしたでしょうか。

業界を取り巻く状況も、いわゆる闇バイト強盗事件に伴う消費者の警戒感の高まりや AI に代表される技術の目覚ましい展開がありました。

このコラムでは、業界内外の出来事を交えて振り返ります。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS

海外動向

国際的に「待ったなし」の Fraud (詐欺) 回答対策
P&G社が2025年7月までの品質改善を
「強く」要請

国際的に「待ったなし」の Fraud 回答対策

P&G 社が 2025 年 7 月までの品質改善を「強く」要請

かねて国際的な懸案となっていたオンライン定量調査の Fraud(詐欺)回答問題に重大な転機が訪れました。市場調査の世界的な大発注者である P&G(Procter & Gamble) 社が、対策の遅れにしぶれを切らし、米国と英国の市場調査協会および世界各国の主要な取引先調査会社に対し、2025 年 7 月を期限として抜本的な品質改善を「強く」要請したことがわかりました。P&G 社の動向は、今後他のグローバル大手クライアントにも波及することが予想されています。

米国の市場調査協会では対策の第一弾として、アクセスパネル(モニター組織)を保有・管理する調査会社に対して ISO 20252 の取得を呼びかけましたが、半年程度の期間内に目に見える成果を上げることは容易でないと見込まれています。

実は日本のアクセスパネルも、国際的には品質管理不十分と見られています(少なくとも他の先進国と同程度のレベル)。従来のボット対策のみならず、生成 AI による不正回答の摘発・削除対策が必須になると見られ、難しい対応が予想されるようですが、業界としてこれを品質向上のチャンスととらえ、正面から立ち向かって顧客の期待に応えることが求められています。

[詳しくはこちら](#)

不定期連載



顧問弁護士が語る
課題を乗り越える法律知識

顧問弁護士が語る課題を乗り越える法律知識

JMRA 顧問弁護士の鈴木先生による、最近の話題についての法的根拠や市場調査における基本的な法律知識をコラム形式で不定期に連載します。

今回は「いわゆる『フリーランス・事業者間取引適正化等法の施行』について」です。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



開催報告:「生成 AI 活用・情報交流会」(第 5 回 11 月度)

2024 年 11 月 6 日、第 5 回「生成 AI 活用・情報交流会」が開催されました。

この情報交流会は、2023 年度の JMRA インターネット調査品質委員会で、生成 AI(主に ChatGPT)の活用検証を実施した中で、このような情報を業界の発展のために委員会の中に閉じず、もっと多くの人と共有し合いたいという思いで、気軽に積極的にオープンに情報交換をすることを目的に 2024 年 6 月より実施しています。

今回のライトニングトークは、以下の 2 つでした。

- ・発話分析ソリューションの「toitta(トイッタ)」(株)はてな 米山様
- ・楽々プロファイルのご紹介 楽天インサイト(株) 小川様

Q&A、フリーディスカッションが行われました。

インターネット調査品質委員会では、12 月～1 月にかけて、業界の AI 関連のサービスの開発や推進担当者、およびインターネット調査パネルの品質についてのフォーカス・グループを実施します。

次回の情報交流会では、その内容を AI で分析してみなさんに共有する予定です。

- ・日程:2025 年 2 月 5 日(水)18:30～

追ってご案内します。どうぞ楽しみに！

[詳しくはこちら](#)

TOPICS

開催報告

西日本コラボレーション研究会

周年イベント

2024年11月15日(金)

講演：17:00～18:00

懇親会：18:30～20:30

開催報告：西日本コラボレーション研究会 周年イベント

2024年11月15日、西日本コラボレーション研究会の年次「周年イベント」を開催しました。今年も講演は昨年と同様、リアルとオンラインのハイブリッド形式で実施しました。恒例の外部ゲストをお招きした講演会には、リアル参加が13名、オンライン参加が11名の計24名のご参加をいただきました。

[詳しくはこちら](#)

連載

JMRA マーケティングデータ・ストレージ
ピックアップセレクション

最近 JMRA マーケティングデータ・ストレージに掲載された会員社の自主調査から、ウェブ・メルマガ委員会が精選した自主調査をご紹介します。



●**栄養素についてのアンケート**
(2024.11.12 (株)マーケティング・リサーチ・サービス)

食生活で栄養素バランスが整っていると思っている人は 34%でした。男性よりも女性の方が栄養素に対する関心度が高く特に「鉄分」について不足していると感じている人が多いようです。



●**働きやすく、風通しの良い職場では、コンプライアンス違反は起きにくいのか？**
(2024.11.22 (株)日経リサーチ)

風通しの良い職場はコンプライアンスに関わる問題が起こりにくく、業績向上よりもコンプライアンスを優先している傾向にあるようです。また、コンプライアンス違反の通報が上がってこないリスクを避けているようです。

[詳しくはこちら](#)
(JMRAマーケティングデータ・ストレージ)

[詳しくはこちら](#)
(JMRAマーケティングデータ・ストレージ)

連載

What's happened?

おすすめ記事をピックアップしてご紹介

広告・マーケティングの最新動向がわかるマーケター向け専門メディア「MarkeZine」から、おすすめ記事をピックアップしてご紹介いたします。



●**「ひとり行動」「好きの深掘り消費」が増加！**
メリーチョコレートと博報堂生活総研が見据える、消費者の姿



●**AI×データ活用が導く、新時代のマーケティング変革とは？**
電通グループのキーパーソンに聞く

[詳しくはこちら](#)
(外部サイト:MarkeZine)

[詳しくはこちら](#)
(外部サイト:MarkeZine)

教育講座・セミナー案内



マーケティング・リサーチ エキスパートコース 多変量解析法の利活用講座 2025年1月20日(月)・27日(月)

●マーケティング・リサーチ エキスパートコース

多変量解析法の利活用講座 ～予測要因分析と構造分析の利活用～

本講座では、多変量解析の手法である「予測要因分析」と「構造分析」について学習します。

マーケティングの視点からは、検出された各要因(「独立変数」、「説明変数」)のどの要因が、どのように消費者の購買態度・行動(「目的変数」、「従属変数」)に影響を与えているのかが判明しますので、マーケティング戦略に大いに活用することができます。

また、消費者の態度・行動の背景にあり、その基となる複雑重層的な要因構造を探索・究明することは、製品・サービスのターゲット層を見出し、そのターゲットをどのようなコンセプト、どのような素材や効能(コンセプト付きプロダクト)で攻略するのかというマーケット戦略の構築に大いに役立つと考えられます。

そのため、クライアント・調査会社双方のマーケティング・リサーチ計画・分析担当者には是非受講することをお勧めします。また、コンピュータ上で解析モデルを運用する担当者にとっても、本講座は作業内容の理解と品質向上に役立つため、受講をお勧めします。

・日程:2025年1月20日(月)・27日(月) 各日 10:00～17:00

・会場:JMRA 研修室(会場集合型対面形式)

[詳しくはこちら](#)

お知らせ

●「No.1表示」問題の取材記事(マンガ版)がインプレス BUSINESS MEDIA Web 担当者フォーラムに掲載されました

JMRA が提起した、いわゆる「No.1表示」に関する問題について、消費者庁が「No.1表示に関する実態調査報告書」を公表したことをきっかけに、広告業界をはじめとして「No.1」や「高評価%」

の表示方法への関心が高まっています。今回、インプレス社の取材記事がマンガ版として公開されました。ぜひご覧ください。

詳しくはこちら
(外部サイト:インプレス)

●事務局年末年始休暇について

年末年始は、以下のとおり休業します。

2024年12月28日(土)～2025年1月5日(日)

●1月号は1月21日(火)発行予定です

◆このメールはメルマガをご登録された方に配信しています。

◆配信停止を希望される方は [こちら](#)よりお願いいたします。

◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

◆プライバシーポリシーは [こちら](#)をご覧ください。

◆配信元:一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-9-9 石川LKビル2階

<https://www.jmra-net.or.jp/>

office@jmra-net.or.jp

あなたの中に未来がある。